

真実を話します 実践している病院からの報告

社会保険相模野病院
内野直樹



社会保険相模野病院概要

小規模公的病院（神奈川県相模原市）
許可病床数 170床 診療科目8科
職員数 235名（医師 34名 看護師 144名）
外来患者数 500名 入院患者数 118名
病院の特徴 : 周産期医療に特化
年間分娩1300例 NICU20床
病院長専門分野 : 産科



真実説明の歩み

1995年 産婦人科部長 産婦人科で開始

➡ 無視と非協力

2002年 副院長 病院に提案

➡ 拒否と不信

2004年 病院長 病院の方針として実施

➡ 抵抗と流言飛語



職員行動規範

常に恥ずかしくない行動を

(2004.4.1)

- 1 .結論に至った判断は間違っていないか
- 2 .患者、指示内容、手順を再度確認したか
- 3 .自分の行動は正しいと言えるか
- 4 .人に見られて恥ずかしくないか



全職員へ宣言

(2007.10.1)

1. 事故、失敗は隠蔽せず、
患者が気がつく前に話す
2. 過誤があれば謝罪する
3. 病院は個人を徹底して守るが
隠蔽した場合は許さない
4. 必ず具体的対策を講じ、公表する



患者への約束

院内各部署に掲示

1. 全ての事象に正確な情報公開をします。
2. 事故防止のシステムを確立し、
常に改善努力を怠りません。
3. 事故が発生した場合、必ず真実を話します。
4. 原因を究明し、判明した事実と対策を

速やかに公表します。



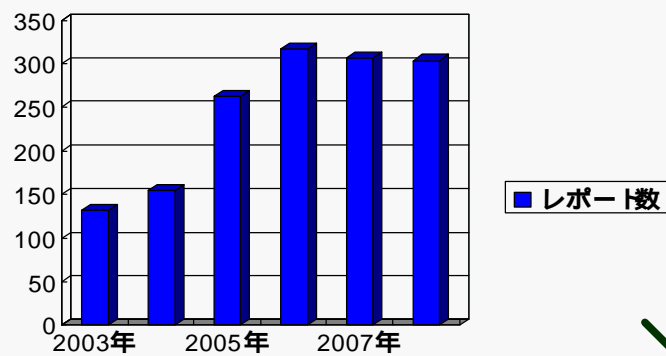
当たり前のことを やってみたらどうだったか？

1. インシデントレポート数の推移
2. 職員アンケート 67名から回答

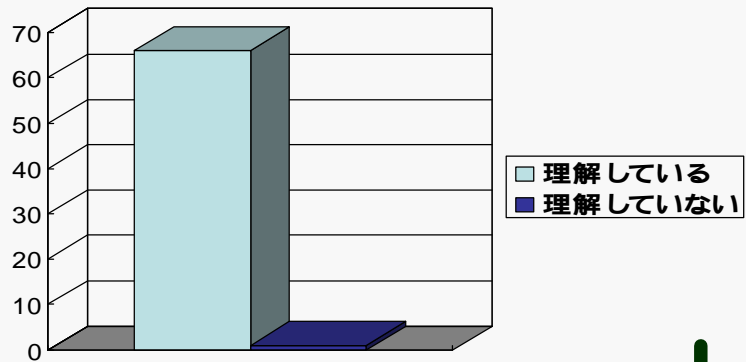
医師17 看護師、助産師 19 薬剤部 2
放射線部 6 臨床検査部 7 事務局 16
(平成20年5月実施)



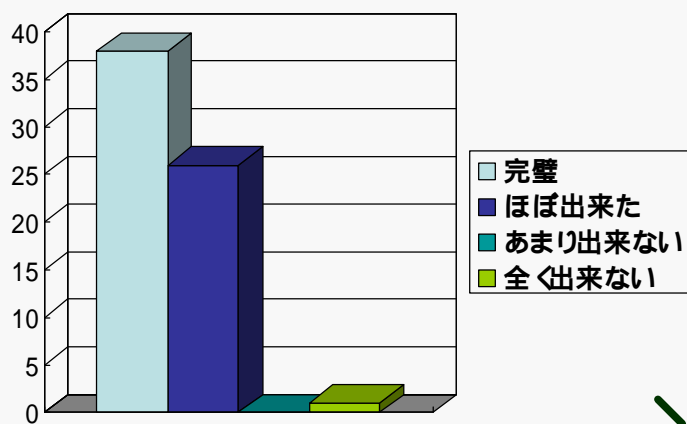
インシデントレポート 提出数の変化



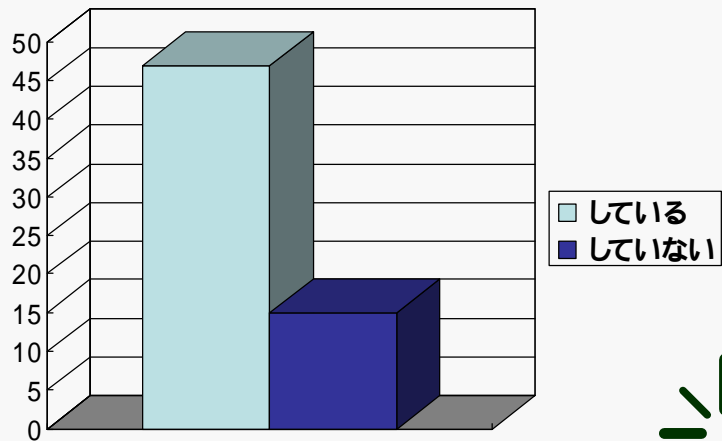
方針を理解しているか



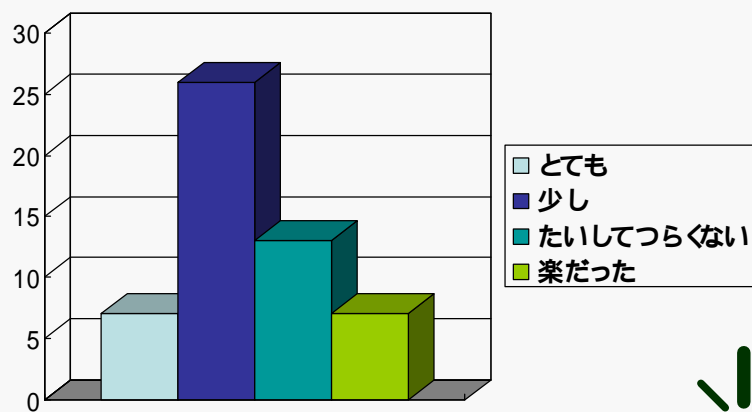
方針は実行できているか



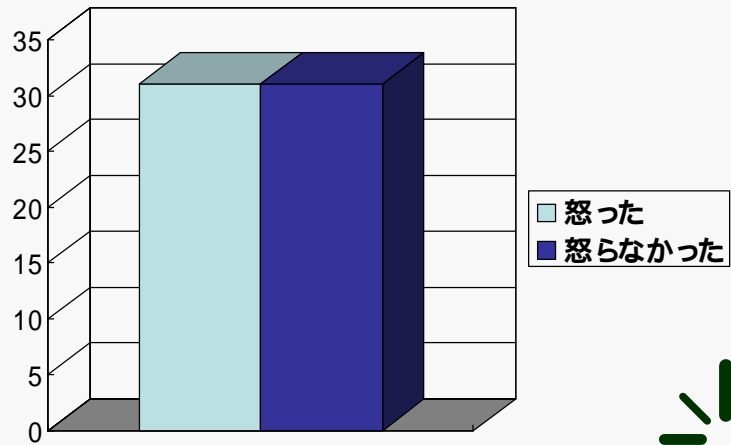
指導しているか



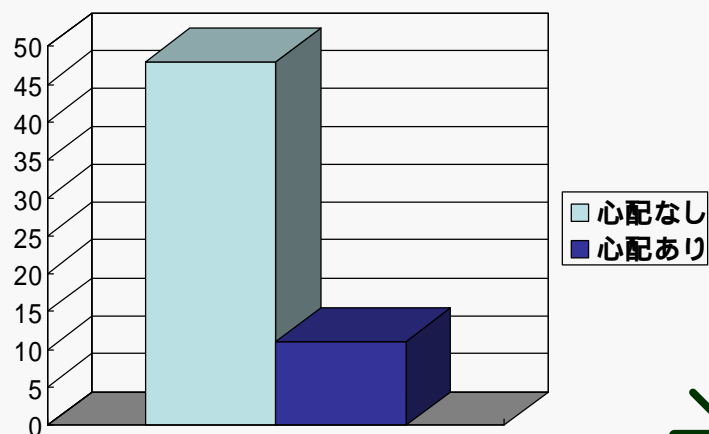
つらかったか



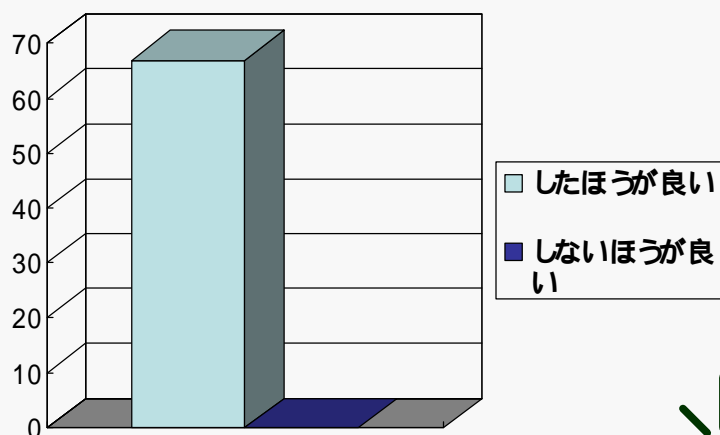
患者の反応



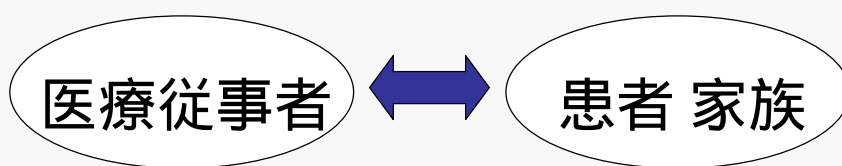
4年経過してどうですか



継続したほうが良いか



真実説明の意義



信頼関係の構築

結果として訴訟、トラブルの減少



真実説明実施の原則

施設管理者が原則を熟知
職員全員が理解して実行
職員保護の徹底



初めの一步！

小さな一步！

